

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 28 年度第 7 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 29 年 2 月 15 日 (水)		
開催場所	小金井市中間処理場事務所棟 研修室 I		
出席者	委員	<出席者：13 名> 渡辺会長・岡山副会長・大江委員・岸野委員・林委員・多田委員・黒須委員・石田委員・北澤委員・杉本委員・吉田委員・山田委員・清水委員  <欠席者：2 名>	
	事務局	小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・富田・穂山・立川・佐藤・玉井	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	1
会議次第	1 開 会  2 報 告 平成 2 8 年度燃やすごみの月別比較について 清掃関連施設整備基本計画検討会議第 2 回報告について 専門委員会（未活用資源（可燃ごみに含まれる資源化可能物）の有効利用方策の調査・研究に関する小委員会）第 4 回専門委員会開催の報告について  3 議 題 平成 29 年度一般廃棄物処理計画について		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他	次回開催予定 平成 29 年 2 月 24 日 (金) 小金井市役所 市長室 (答申)		

審議過程（主な発言等）

渡辺会長	<p>それでは、平成28年度第7回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。</p> <p>まず、事務局から配布資料の確認をお願いしたい。</p>
玉井減量推進係主任	(事前送付資料・本日配布資料確認)
渡辺会長	<p>それでは、前回の審議会の会議録について修正等があれば2月17日までに事務局までご連絡頂き、その後公開とする。</p> <p>次に事務局から提出された資料について説明をお願いします。</p>
小野ごみ対策課長	<p>(「平成28年度燃やすごみ処理量の昨年度との月別比較について」説明)</p> <p>(「清掃関連施設整備基本計画検討会議 第2回」報告)</p> <p>(「平成29年度一般廃棄物処理計画 修正案 第2稿について」説明)</p>
岡山副会長	(「可燃ごみに含まれる資源化可能物の調査・研究に関する小委員会第4回」報告)
渡辺会長	<p>数値についてだが、修正案の12ページのごみ処理計画の燃やさないごみの鉄など金属の資源化は、28年度は284tだが29年度は385tと増えている。一方ケミカルリサイクルは、28年度は1,252t、29年度は1,106tと減っている。事務局は、後ほどこの数字の根拠を確認して頂きたい。</p> <p>それでは、審議に入る。事前送付資料の内容はほぼ反映されているが、一部、審議が必要な部分がある。また、林委員からのご提案もあるので説明をお願いします。</p>
林委員	一部、計画に反映されていない部分の整理から先に審議していただき、最後に私の方からの提案を説明したい。
渡辺会長	<p>それでは林委員のご提案を受け、順次審議していく。</p> <p>まず、計画項目2の施策「有効利用先の確保（リユースできるもの）」についてだが、「維持継続」が目標では見直しをしないと捉えられてしまう。事務局からは「強化継続」に修正する案が出されている。</p>
林委員	具体的な施策がないようなら、あえて「強化」とせず、「継続」でいいのではないかと。後ほど行う実績評価もし難いと思う。「強化」の標記は計画にメリハリを付けるために使った方がいい。

審議過程（主な発言等）

岡山副会長	前回の計画の標記である「随時」に近いものは「維持継続」である。
石田委員	食品ロス削減の施策はリユースではないのか。
岡山副会長	確かにフードドライブを含むと解釈すると、強化しなければならない。計画項目1の発生抑制に入る項目ではあるが、気持ちとして2のリユースに入るという認識で良いか。
小野ごみ対策課長	私たちの取組としては、アンテナを広げて各市の状況を把握し、リユースできるものの品目を増やすことは「強化」になるので、その品目の一つの例として食品ロスの削減がある。
渡辺会長	それでは、有効利用先の確保については「強化継続」とする。次に、「くつ・かばん類を含む、分別区分及び回収方法の見直しの検討」の目標は「維持継続」で良いのか。見直すと言いながら「維持」というのは違和感がある。
林委員	「維持継続」は「継続」とすれば良いのではないか。あえて頭に「維持」を付ける必要はない。重複しているようにも感じる。
北澤委員	維持することはエネルギーがいる。ある程度の施策を持って活動していかなければ維持というのは難しい。そういう意味で「維持継続」とした。
岡山副会長	「持続可能な」という言葉があるが、持続可能なということ自体が非常に難しいため、それ自体が目標であっても良いとは思う。
渡辺会長	それでは次に組成分析のところだが、年4回の実施は法定でやっているものだが、分別の徹底に役立つのか。別の組成分析を検討することを実施目標に入れるか。
岡山副会長	専門委員会の方で、年4回の組成分析は分別の徹底を政策化するための組成分析になっていないという審議になった。法定でやらなければならない事業なので、本来ならば、19ページの安心・安全・安定的な収集運搬の部分にあるべき項目ではないか。
小野ごみ対策課長	四分法で行う年4回の組成分析だが、委託業者が行う場にごみ対策

審議過程（主な発言等）

	<p>課職員も立ち会っている。その際にパッカー車からごみを降ろし、組成分析を行う過程を全て見ており、未分別のものを確認して、その成果を施策の展開に反映させている。よって、計画項目3の分別の徹底の項目に組成分析を入れているということをご理解頂きたい。</p>
岡山副会長	<p>前回の専門委員会において、年4回の組成分析では多少結果が荒いため、さらなる分別を検討するためには不十分であると結論付けた。例えば、市が行う組成分析の立ち会いの状況を何らかの形で情報提供いただくのはどうか。また、この計画には載せないが、専門委員会の目標として、法定の組成分析とは別に一度トライしてみたいと考えている。</p> <p>専門委員会では、どうすれば実現可能かを検討しており、私見であるが、年4回の組成分析の目標が、来年度5回、6回になってもいいのかも知れないと思ったが、計画に明記することは難しい。</p>
大江委員	<p>可能であれば是非やって頂きたい。</p>
渡辺会長	<p>それでは、次に「学習機会への参加及び学習の場の提供」は重複しているので、計画項目5の施策「学習機会の提供」にまとめるという部分は如何か。</p>
林委員	<p>シンプルで市民にわかり易い方がいいので、良いと思う。</p>
渡辺会長	<p>それではそのように修正する。次に岸野委員からのご提案の部分で、27ページの事業者の役割の(3)の「水切りの徹底に取組み」の後に、「リサイクル推進協力店となることを目指します」を加えることはいかがか。</p>
林委員	<p>この部分は、市が事業者に求める役割ということか。</p>
渡辺会長	<p>市が、事業者にリサイクル推進協力店になって欲しいということだと思う。事業者の代表として、事業者の役割の部分に「リサイクル推進協力店となることを目指します」という表記はいかがか。</p>
清水委員	<p>良いと思う。</p>
渡辺会長	<p>それでは、そのように修正する。石田委員のご指摘についてはほぼ反映されている。</p>

審議過程（主な発言等）

石田委員	<p>15ページの施策表の表記の「継続努力」というのは、項目を探したが見当たらないので、削ることを検討して頂きたい。また、「－」にしてしまった場合、原則この項目の評価は不要だと認識したほうが良いのではないかと。 「－」の項目のうち何か問題が起こったところだけは、評価の際にこういう結果になったので敢えて評価をお願いしたいなどコメントを付けて頂ければ、評価できないものに対して評価することを避けられるので、合理的ではないかと考える。</p>
岡山副会長	<p>「維持継続」と「継続努力」の違いはあまりないように思う。</p>
富田減量推進係長	<p>当てはまる可能性があるのは、大型生ごみ処理機の部分ではないかと考えている。この部分は、補助制度なので、こちらが働きかければ必ず達成するというものではないし、一朝一夕に制度の見直しはできない。目標の年1件をどうするかということで考えれば「継続努力」も妥当かと思う。今まで実績がないため、予算要求の数値として1件分を措置している。そのため、1件出せば良いのかという達成度としては評価が難しい。</p>
林委員	<p>予算取りをしているという理由で計画を立てているが、本質的な議論として、その制度は廃止した方が良いという話も本当はあると思う。</p>
岡山副会長	<p>ここで年1件を目標に掲げて、評価するときに、例えば3年連続申請が1件もなく、毎年目標を達成できないとなると施策自体を止めるという評価に繋がると思う。</p>
渡辺会長	<p>それでは、現時点においては、年1件ということなので「継続努力」の目標は文中から削除する。</p>
林委員	<p>石田委員のご提案の部分について、目標の欄に「小委員会の開催」と記載するのは如何なものか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>市としての目標であって、小委員会に関しては、私達はサポートをさせて頂いているが、飽くまでも審議会の自主的な取り組みだと認識している。私達としては、小委員会を開催することが目標となる。</p>
渡辺会長	<p>それでは小委員会の部分はそのままとする。次に、2ページで、林委員が文言の修正を指摘されているが、私もこの方が流れが良いと思うので、異論がなければこのとおり修正したい。同じく、15ページを簡</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>条書きにして見易くするという部分も良いと思う。</p>
林委員	<p>(提出資料説明)</p>
渡辺会長	<p>林委員から説明のあった清掃指導員とごみ相談員の位置付けについて事務局から解説して頂きたい。</p>
小野ごみ対策課長	<p>清掃指導員はごみ対策課の全職員のことで、市長が発行する清掃指導員証を持っており、各家庭から出されるごみ袋を開ける権限を持っている。ごみ相談員はごみゼロ化推進員になって頂いているが、具体的な活動はなかなかできていない。市からお願いしたいのは、地域から選出されている人が多いので、地域でごみの分別の方法が分からないとか、市の施策についての情報提供の依頼があれば、分かる範囲内で答えて頂きたいということだ。</p>
渡辺会長	<p>分別の徹底に関して林委員の提案では、ごみ指導員ではなく、「清掃指導員による分別の徹底」としたらどうかということだが如何か。</p>
林委員	<p>清掃指導員による分別の徹底は、取組内容には書いているが、施策には落とされていないので、記載したほうが良いと思う。</p>
小野ごみ対策課長	<p>28年度までは入っていた。しかし、皆さんの最初の議論の中で、通常業務は除いたほうが良いという話があったので掲載していない。</p>
林委員	<p>取組内容だけで謳っていると、評価の対象にならない。</p>
杉本委員	<p>通常業務というのは、ある一定期間、ごみの分別等ができていないアパートに行って指導するのか、それとも何か問題があったときに清掃指導員を派遣するのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>両方である。紙を貼らせて頂いたところに、大家さんや不動産屋さんなどを呼んで清掃指導したり、逆に、大家さんや不動産屋さんから相談を頂いて出向く場合もある。住民登録をしていない学生などには、不動産屋さんと連携してカレンダーを渡して貰うなどしているが、分別を理解して貰うには時間が掛かる。そこで清掃指導員が現場に入っている。</p>
林委員	<p>「広報媒体活用による周知」の周知を「充実」としたほうがいい。</p>

審議過程（主な発言等）

<p>渡辺会長</p>	<p>単なる周知ではなく充実させようということだと思う。賛成である。取組内容との紐付けをするかどうかは如何か。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>評価するときには必要であるが、ここで出す必要はないと思う。 「実施する取組」にするのか「施策」にするのかはどうするか。大きな計画の中に「3Rの推進」とか「安心・安全・安定的な適正処理の推進」などの施策があつて、その次に取組内容があつて、それを更に分割したのが具体的な取組という並びになっている。しかし、本来は、計画、施策の次に事業があつて、そのための具体的な取組だと思う。計画項目（取組内容）が施策内容であり、施策内容で具体的に何をやるかと言えば、実施する具体的な取組ということの良いと思う。</p>
<p>林委員</p>	<p>あまり複雑にするとわかりにくくなるため、「施策」に戻さなくても皆さんが「実施する取組」でいいようならそれで良いと思う。</p>
<p>大江委員</p>	<p>計画項目（取組内容）は基本計画に出ている。それを取捨選択、具体化したのが施策、実施する取組である。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>元々計画に載っていたので修正できなかった。最後に大きな施策が出てしまうのは混乱するので、具体的な取組としておいたほうが良い。</p>
<p>石田委員</p>	<p>計画項目（取組内容）の括弧は、計画項目を言い換えたら取組内容になったと読み取れる。しかし、そうではなく、計画項目の詳細が取組内容ということだ。括弧が紛らわしいと思う。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>四角で囲まれているのが計画項目で、(1)、(2)と書いているのが基本計画に載っている取組内容だ。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>「計画項目／取組内容」としては如何か。</p>
<p>渡辺会長</p>	<p>それでは、そのようにする。「学習機会の提供」に関しては、他の項目に関しても内容が入ってくるので、目標については、「計画項目5参照」と整理され、「年40回」が複数回出てくるのは避けられるので、この程度の修正で良いのではないかと思う。</p>
<p>岡山副会長</p>	<p>賛成である。</p>

審議過程（主な発言等）

林委員	次回の諮問案を作成する時には市のほうで考慮して頂きたい。
多田委員	施策の取組の順番が順不同でわかりにくい。
渡辺会長	施策の順番を検討しても良いかも知れない。
岡山副会長	具体的な取組は、一番上から重要な取組ということだと思う。
石田委員	そういう意図があるのであれば、そのまま残せばいいし、特に意図がないなら、一括して揃えたほうが見易くなる。
小野ごみ対策課長	27年度の計画は、そういう意図があった。28年度は継続して作成したため同じである。
石田委員	それでは、意図があると受け取って維持とすることで良いと思う。
小野ごみ対策課長	今回、計画項目の取組内容のところ、今まで、充実、最優先強化、強化に分かれていたが、皆さんに修正して頂いたので、実施する取組については、若干温度が変わってきたのかと思っている。会長と事務局が相談して、順番を変えてもよろしいか。
渡辺会長	それでは、そのようにさせて頂く。本日の審議を踏まえて、一般廃棄物処理計画の修正案について会長・副会長に一任という形にして頂いて、これをもって結審としたい。2月24日に私から市長に答申し、答申した計画については、事務局から皆さんに郵送する。また、予算成立を条件としている箇所等については、答申後に調整する場合もあるということを了承頂きたい。
小野ごみ対策課長	次回の開催は、6月、7月頃を予定しており、28年度の評価を頂くことになる。ただし、評価の方法等について議論して頂く必要があるならば、5月頃に集まって頂くことも可能である。平成30年度の実施計画の諮問が9月か10月頃になると思うが、その前に評価をして頂くことになる。日程については、会長・副会長と調整をさせて頂く。
渡辺会長	皆さんのご協力に感謝する。それでは、これで終了とする。

以上